

生理検査学Ⅱ

Physiological Examination Ⅱ

生命：L1-31311MS

医療科目 3年／前期 2単位 選択必修科目

科目責任者 花尾 麻美(非常勤講師)

■教育目的

疾病の診断・治療に必要な不可欠な超音波検査(造影剤注入によるものも含む)および各種画像検査について、測定原理・操作方法、正常・異常所見などを講義する。生理検査は直接患者さんに接するため、検査時に必要となる患者へのマナー・接遇を含めたコミュニケーションも含めて理解する。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-① SD-② SD-③】

■学習到達目標

1. 超音波検査を理解できる「知識、技能」
2. MRI・サーモグラフィー検査を理解できる「知識、技能」

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書・参考書の記載に目を通しておくこと（30分以上）

復習：授業資料を再視聴し授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分でノートをまとめる（10分）。過去の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと（10分）。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1	超音波検査の基礎	画像検査に必要な解剖知識	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
2	超音波検査の基礎	原理と測定法	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
3	超音波検査の基礎	各種ドプラ法、アーチファクト、検査の実際	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
4	心臓超音波検査の基礎と臨床(心臓)	正常心臓超音波の基本断面	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
5	心臓超音波検査の基礎と臨床(心臓)	心機能評価	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
6	心臓超音波検査の基礎と臨床(心臓)	心疾患における超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
7	腹部超音波検査の基礎と臨床(肝臓)	検査の前処置、基本走査、肝臓の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
8	腹部超音波検査の臨床(胆道、膵臓)	胆道、膵臓の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
9	腹部超音波検査の臨床(脾臓、腎臓、副腎、腹部大動脈)	脾臓、腎臓、副腎、腹部大動脈の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
10	腹部超音波検査の臨床(骨盤腔、消化管、その他)	骨盤腔、消化管の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
11	体表超音波検査の臨床(甲状腺、乳腺、リンパ節、その他)	甲状腺・乳腺・リンパ節の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
12	血管超音波検査の臨床(頸動脈・下肢血管、その他)	頸動脈・下肢血管の正常超音波像、異常超音波像	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
13	MRI 検査	原理・検査法	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
14	熱画像検査	原理・検査法	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6
15	超音波検査の国家試験対策	国家試験対策(超音波検査の基礎と臨床)	C7-(2)-①～⑩ E1-(2)-②-6

■授業分担者

花尾 麻美(非常勤講師)(No.1～3)、宿利 淳(非常勤講師)(No.4～6)、太田 奈津子(非常勤講師)(No.7～12、15)、榎本

みのり(非常勤講師)(No.13、14)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題提出 100 % (課題提出をもって出席確認を行う。課題内容にて成績評価する。)

■ 教科書

「最新 臨床検査学講座 生理機能検査学第2版」(医歯薬出版)

■ 参考書

自作講義資料等